

登録コード	E7262400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究				担当教員	橋本 政晴	
英文授業名	Graduation Study for Sports Sociology				副担当		
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室	教育研究室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				スポーツ社会学の専門的な知識を理解することを通じて, スポーツのもつ社会性について理解を深める.		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				スポーツ社会学の専門的な知識を理解し, 自らの言葉でスポーツをめぐる社会問題について説明できるようになる.		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働、健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	(01)ゼミ・メンバーで文献を読み込む. (02)読み込んだ文献に対してコメントを加える. (03)コメントをもとにメンバーでディスカッションを行い, 著者の意図や読者の主張を批判的に検討し合う						
(5)授業計画	ゼミは、原則として毎週火曜の16:40～18:20に行う。 ＜01＞スポーツ社会学および社会学に関する文献の輪読およびディスカッション【前期】 ＜02＞卒論の執筆に向けた卒論ゼミ【後期】 構想発表会【5月】 中間報告会【7月および10月】 最終報告会【12月】 執筆・抄録の作成【1月】 スポーツ社会学研究室報告会【1月下旬】 卒業論文発表会【2月上旬】						
(6)成績評価の方法	・卒業論文について、以下の観点から評価する. (1)学術的なオリジナリティ (2)当該テーマのリアリティへの肉薄 (3)前述(1)(2)の記述内容における誠実性 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可.						
(7)成績評価の基準	前期の学習、卒業論文の計画・調査、卒業論文執筆、プレゼンテーションのそれぞれについて、 (01)先行研究の整理(20点) (02)調査・分析の方法についての理解と遂行能力(20点) (03)卒業論文にかかる自身の問いの適切さと独自性(20点) (04)研究に向き合う態度(20点) (05)問いに対する自身の答えの適切さと意義(20点) で評価した上で、「成績評価の方法」に示した配点で傾斜をかけて総合評価を行う.						
(8)事前事後学習の内容	授業時間外での調査、分析、論文執筆、指導教員とのディスカッション等が必要となる.						
(9)履修上の注意	当該年度に卒業論文を提出する学生が対象となる.						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	メール連絡で対応する.						
【教科書】	各年度のゼミ・メンバーによって決定する.						
【参考文献】	亀山佳明(編)『スポーツの社会学』世界思想社 井上・亀山(編)『スポーツ文化を学ぶ人のために』世界思想社 石岡丈昇(編)『スポーツで社会学する』有斐閣						